

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 水 2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 II Comprehensive English II		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	Eg	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 藤本 ゆかり /研究室: 非常勤講師控室 /オフィスアワー: 授業終了後			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標(500文字) 授業のねらい: 専門である経済学を英文で学ぶことにより、学習意欲を高め、英語の総合的な能力を伸ばし、リーディングとリスニングの力を身に付ける。経済学で用いられる専門英語を習得する。経済に関する英語の長文を理解して読めるようになる。また、経済学を学ぶ上で、さらなる興味と関心を深める。世界経済や身の回りの経済問題を考え、理解する。 授業方法: 予習を充分に行ってきた上で、英文を読み、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握を捉えることができるようにする。テキストの練習問題により、説明と指導をしながら、語彙と文法事項の定着を図り、リスニングの能力を養う。資料等により様々な経済問題を考える。 授業到達目標: 専門英語として、経済で使用される英語を学んで覚え、1990年代半ば以降の世界経済の大きな動きについて書かれた英文を読み、その内容の意味を正確に理解できる。専門である経済学及び様々な経済問題に関心を持つ。また、それらについて考察し、自分の考えを持つようになり、将来の研究に備える。語句や文法事項の基礎的な力を確認し、さらにリーディングとリスニングの応用力を伸ばすことができる。英語で書かれた経済に関する長文を読めるようになる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)(1300文字) 授業内容(概要) 十分な予習を前提とした上で、テキストの英文を精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び英文読解の方法や技術を指導します。英文の内容の理解が出来ていることを示すために、毎回発表をしてもらいます。その中で、経済学の専門的な知識を説明することにします。英文の読解力を高めることと、専門的な経済学の専門的な英語を習得することを、目標とします。本文の内容理解をチェックするための練習問題を解き、その中で語彙や文法事項、またリスニングの指導と解説をします。さらに、様々な経済問題について、英文や資料も示しますので、それらについての考察を行います。  第1回 導入・授業内容の説明 UNIT 1 Clintonomics Revived the U. S. Economy 第2回 UNIT 1 Clintonomics Revived the U. S. Economy 第3回 UNIT 2 A New Business Cycle 第4回 UNIT 3 The U. S. Dollar, the Key Currency 第5回 UNIT 4 Crisis in Asia 第6回 UNIT 5 The IMF: Who did it help? 第7回 UNIT 6 The Enron Effects 第8回 UNIT 7 The Euro, a Giant Leap for Europe 第9回 UNIT 8 <i>Free Trade 1</i> FTA: a Roadmap to Overcome Protectionism? 第10回 UNIT 9 <i>Free Trade 2</i> Agricultural Protectionism 第11回 UNIT 10 <i>US-China Relations 1</i> Trade Surplus 第12回 UNIT 11 <i>US-China Relations 2</i> Mass Market 第13回 UNIT 12 India and Russia: Two Newly Emerging Giants 第14回 様々な経済問題についての考察 第15回 授業のまとめと定期試験  世界経済は、主に英語によって動かされていると言っても過言ではありません。 これからの時代は、グローバル化のため、経済界やビジネスにおいて、英語がますます必要とされます。英語の学習にさらに力を入れ、TOEIC テスト等も視野に入れて勉強しましょう。 また日頃から、新聞等においても、経済記事やニュース、世の中の動きに注目するようにして下さい。			
キーワード	経済の専門英語の習得・世界経済・マクロ経済・経済問題・リーディング・リスニング		
教科書・教材・参考書	テキスト Dramatic Moments in World Economy 『経済から世界が見える』(細川祐子 : 開文社) 資料プリントを配布します。 英和辞書を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。 主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。  また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業は全ての回に出席することを期待します。 必ず予習を行って参加しましょう。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	専門である経済学を英語で学び、興味を深め、将来の研究と結びつける。 1990年代以降の世界経済の動きを理解する。		
備考(準備学習等)	授業には、毎回必ず予習・復習をして臨みましょう。 英単語等の意味を予め調べ、テキストの大意を自分で掴んでおきます。		